

＜集計分析結果＞

(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～地域包括ケア推進計画の策定に向けて～

令和 8 年 5 月

＜昭島市＞

目 次

1 基本調査項目（A票）	[P. 1]
(1) 世帯類型	[P. 1]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 1]
(3) 主な介護者の年齢	[P. 2]
(4) 介護のための離職の有無	[P. 2]
(5) 施設等検討の状況	[P. 3]
2 主な介護者様用の調査項目（B票）	[P. 3]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 3]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 4]
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 5]
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 5]
3 要介護認定データ	[P. 6]
(1) 年齢	[P. 6]
(2) 性別	[P. 6]
(3) 二次判定結果（要介護度）	[P. 7]
(4) サービス利用の組み合わせ	[P. 7]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	[P. 8]
(6) 通所系サービスの合計利用回数	[P. 8]
(7) 短期系サービスの合計利用回数	[P. 9]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	[P. 10]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	[P. 11]
参考資料 在宅介護実態調査 調査票	[P. 12～13]

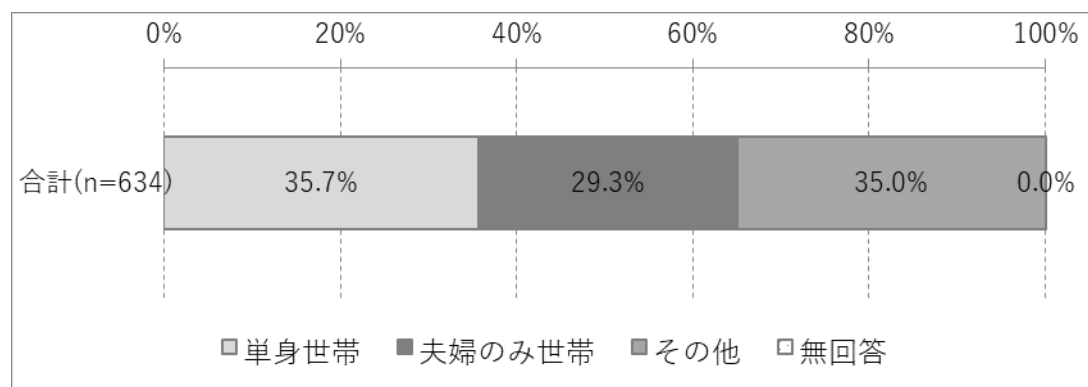
※上記3の要介護認定データは、申請日が令和7年10月1日から令和8年3月31日までで、かつ令和8年3月31日時点で認定を持っている方のデータを抽出したもので、本件調査とは対象人数が異なっている。

1 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「単身世帯」の割合が最も高く 35.7%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（29.3%）」となっている。

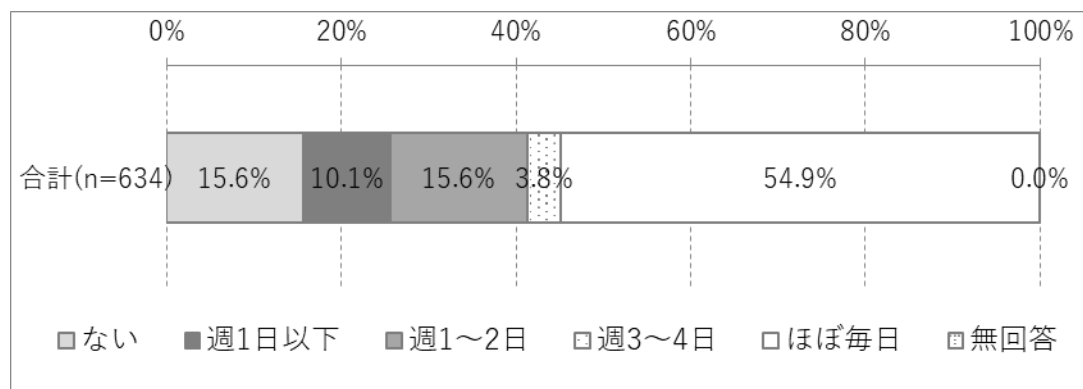
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 54.9%となっている。次いで、「ない（15.6%）」「週1～2（15.6%）」、「週1日以下（10.1%）」となっている。

図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）

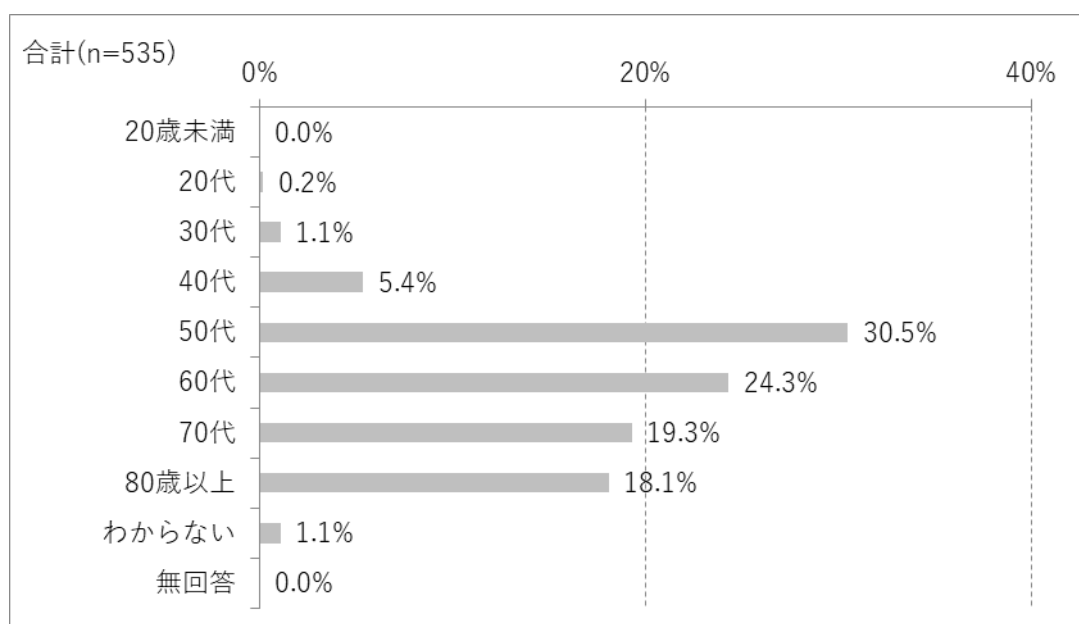


1

(3) 主な介護者の年齢

「50代」の割合が最も高く 30.5%となっている。次いで、「60代（24.3%）」、「70代（19.3%）」となっている。

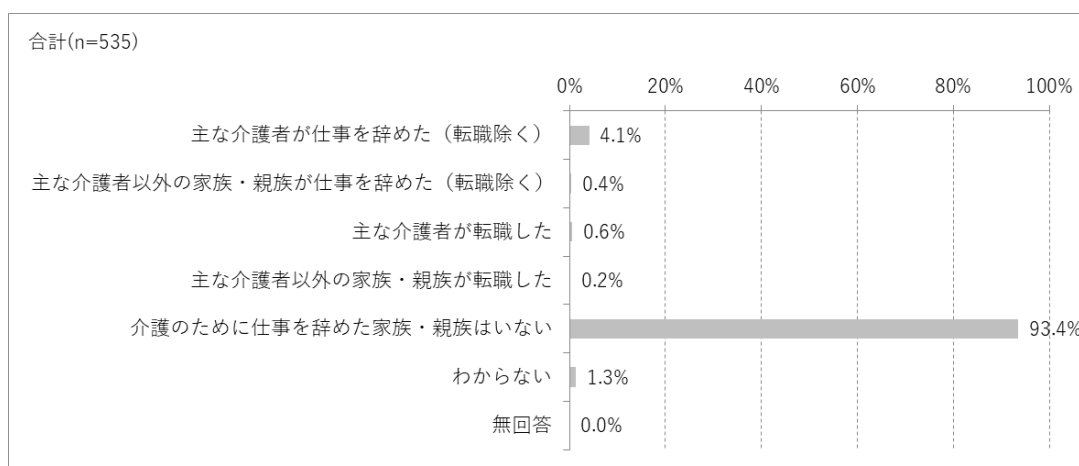
図表 1-3 主な介護者の年齢（単数回答）



(4) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 93.4%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（4.1%）」、「わからない（1.3%）」となっている。

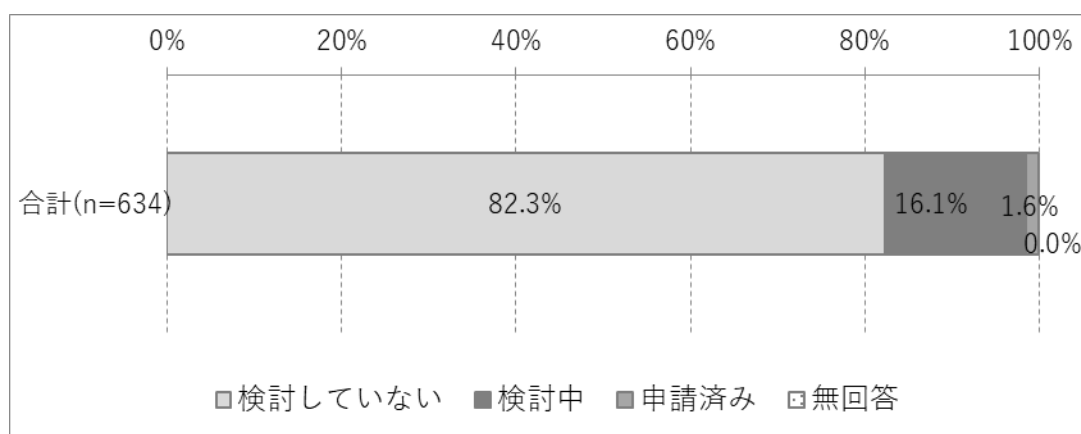
図表 1-4 介護のための離職の有無（複数回答）



(5) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 82.3%となっている。次いで、「検討中（16.1%）」、「申請済み（1.6%）」となっている。

図表 1-5 施設等検討の状況（単数回答）

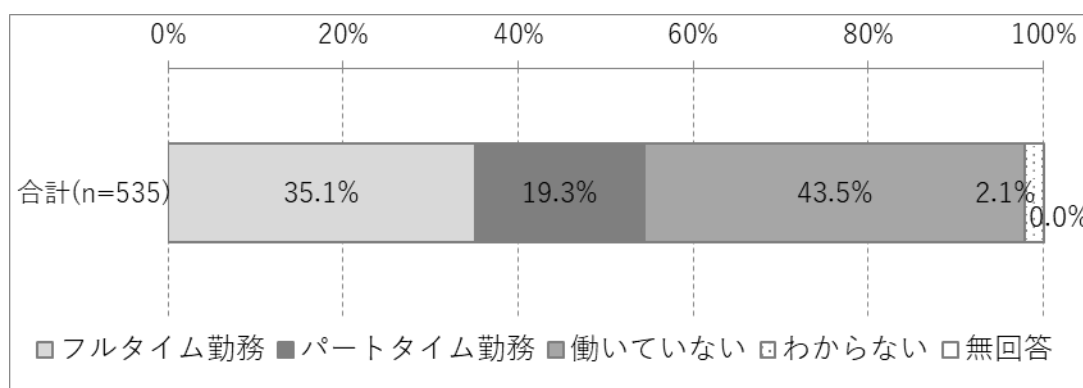


2 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 43.5%となっている。次いで、「フルタイム勤務（35.1%）」、「パートタイム勤務（19.3%）」となっている。

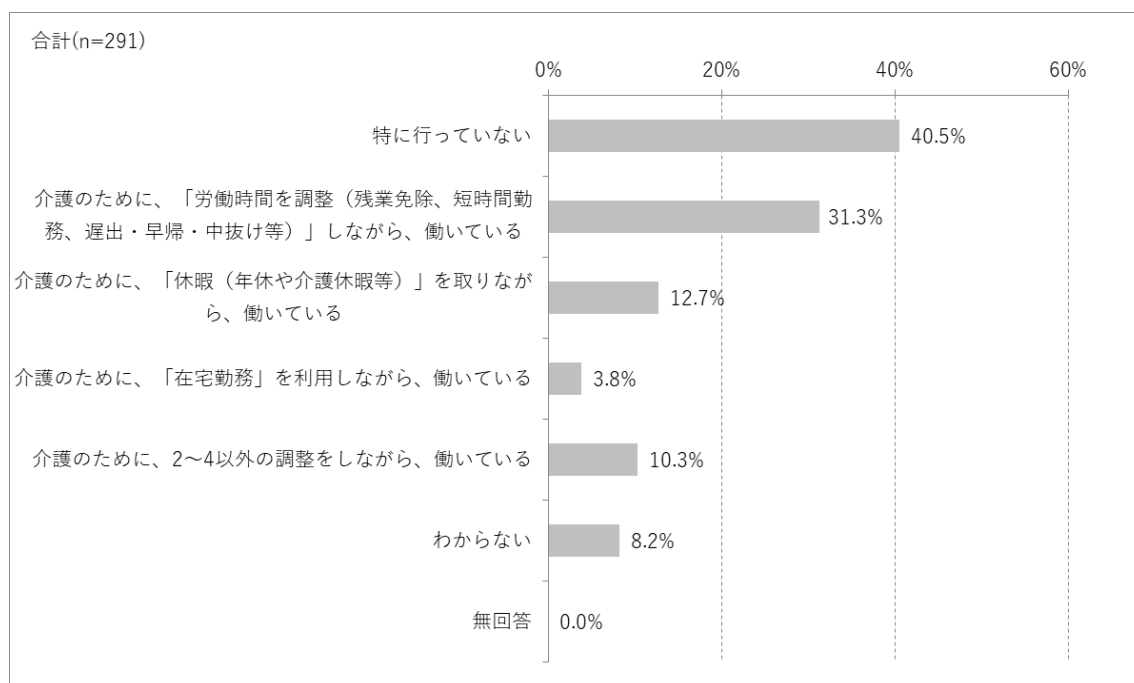
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 40.5%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（31.3%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（12.7%）」となっている。

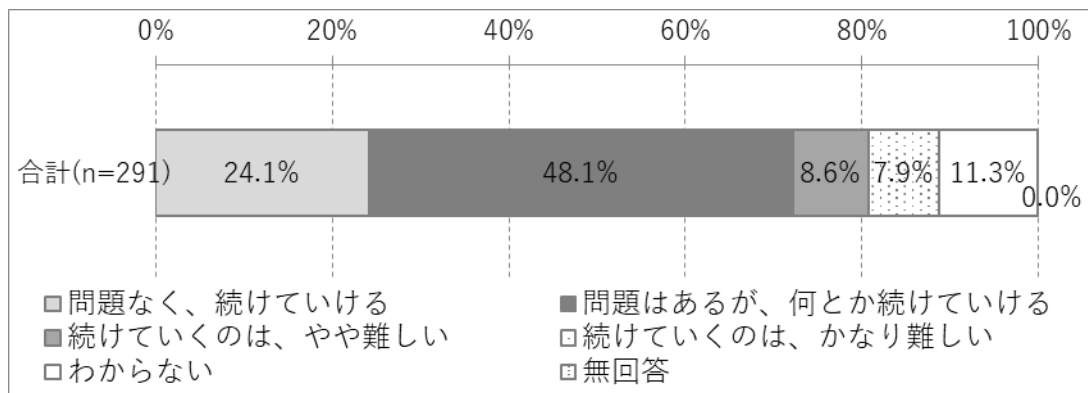
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 48.1%となっている。次いで、「問題なく続けていける (24.1%)」、「続けていくのはやや難しい (8.6%)」となっている。

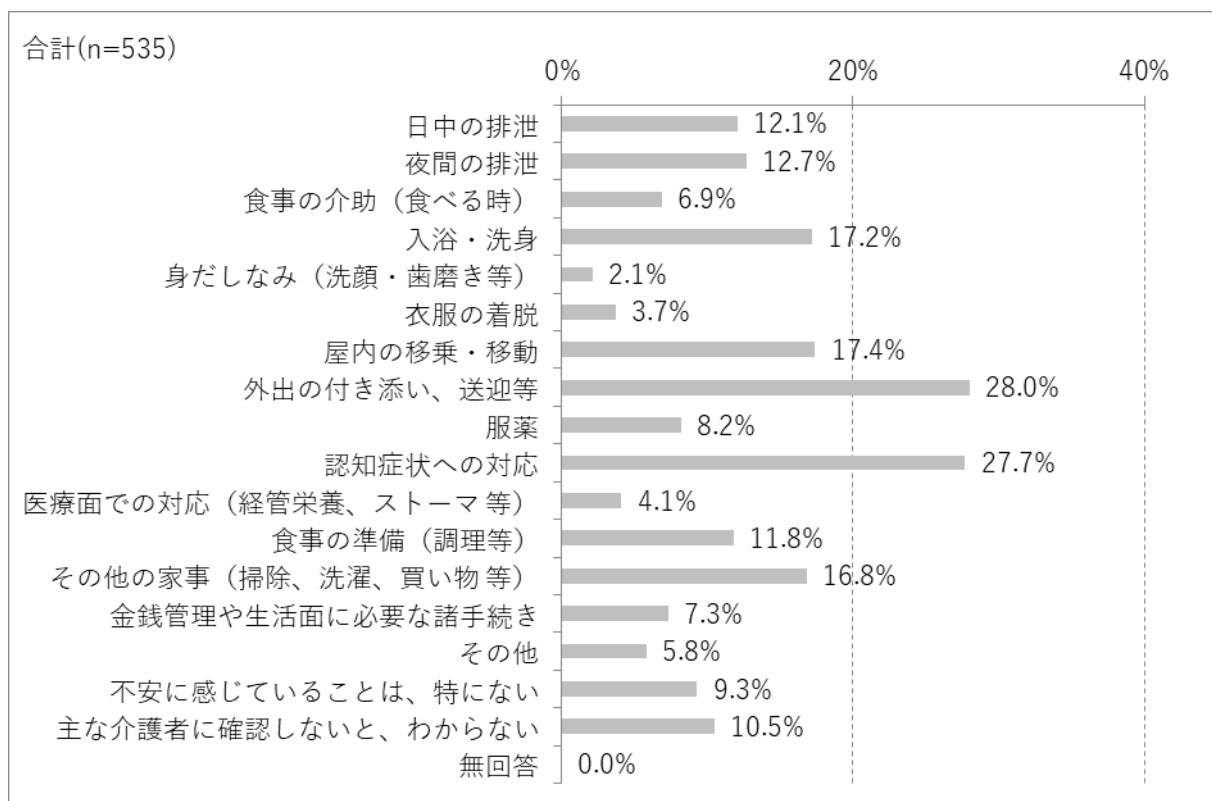
図表 2-3 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 28.0%となっている。次いで、「認知症状への対応 (27.7%)」、「屋内の移乗・移動 (17.4%)」となっている。

図表 2-4 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)

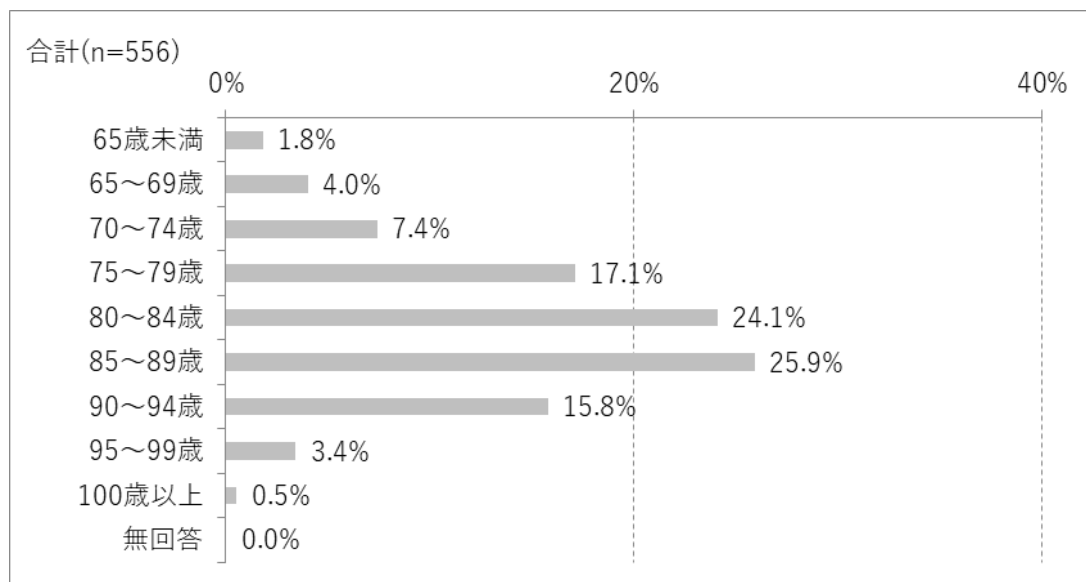


3 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く 25.9%となっている。次いで、「80～84歳（24.1%）」、「75～79歳（17.1%）」となっている。

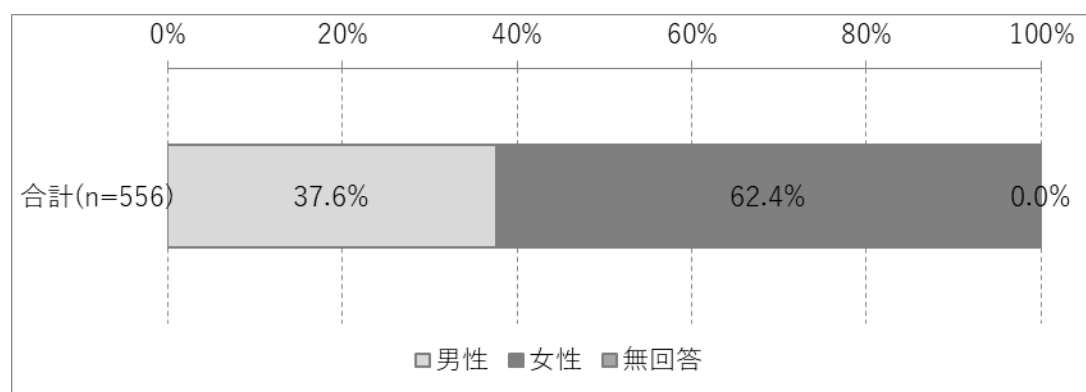
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が高く 62.4%となっている。「男性」の割合が 37.6%となっている。

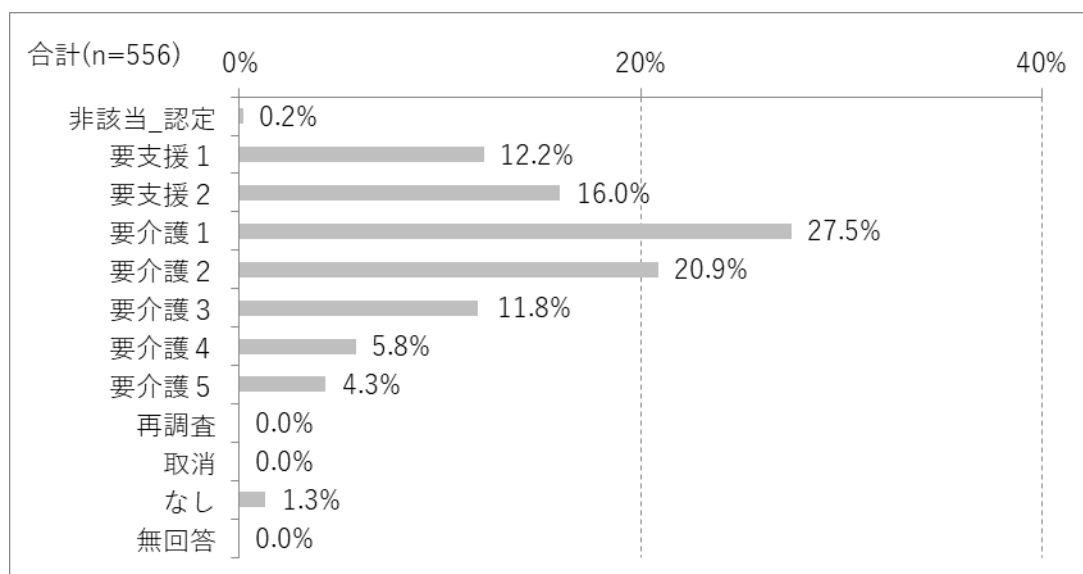
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く 27.5%となっている。次いで、「要介護2（20.9%）」、「要支援2（16.0%）」となっている。

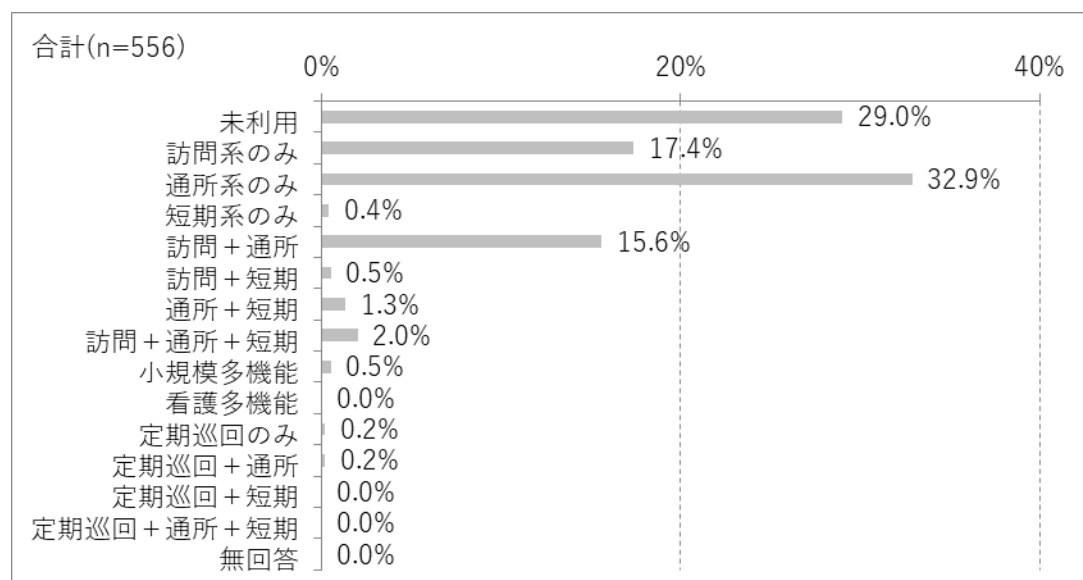
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く 32.9%となっている。次いで、「未利用（29.0%）」、「訪問系のみ（17.4%）」となっている。

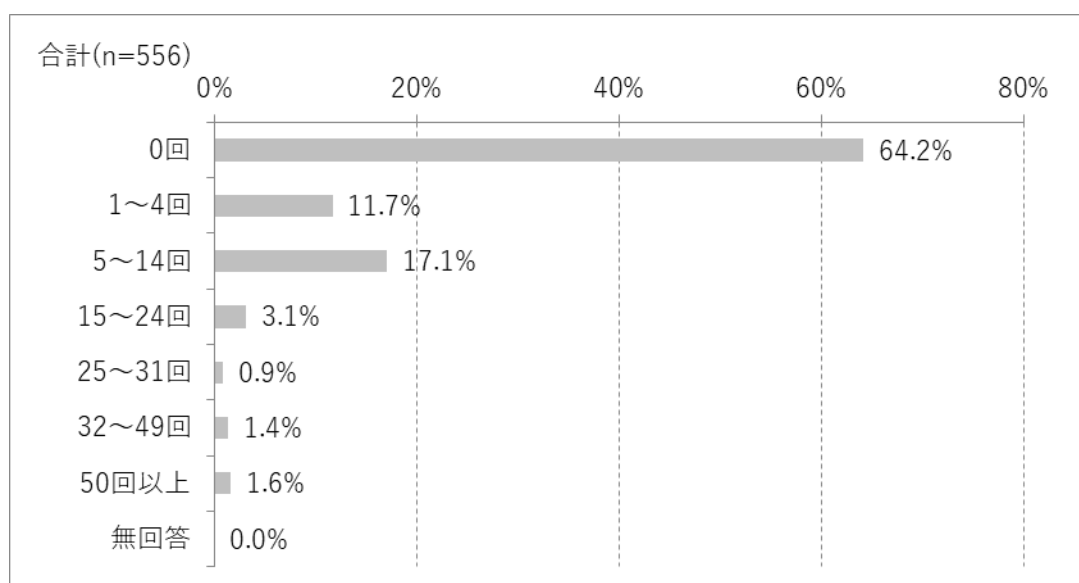
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く64.2%となっている。次いで、「5～14回（17.1%）」、「1～4回（11.7%）」となっている。

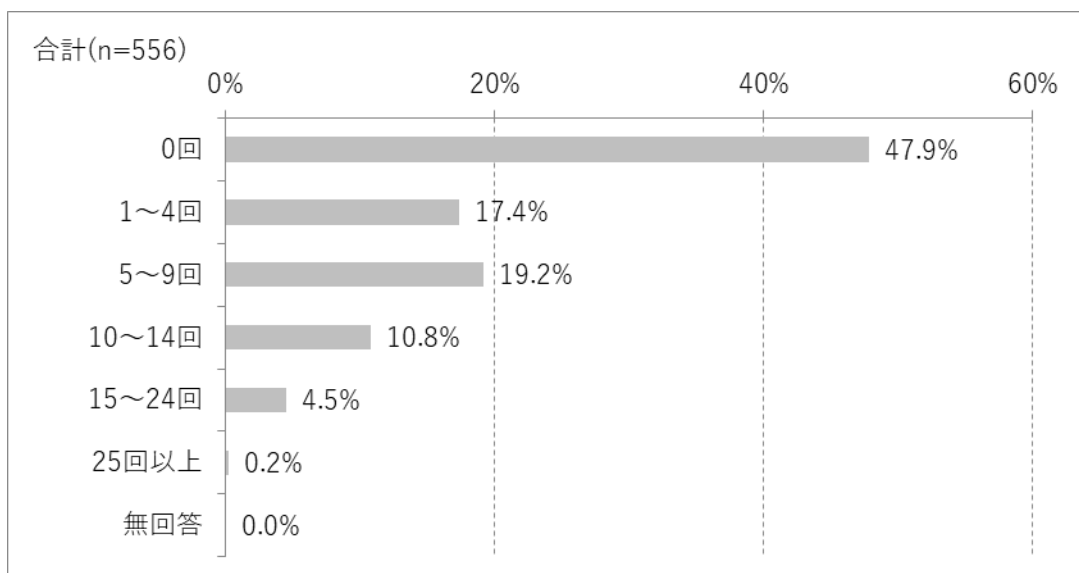
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く47.9%となっている。次いで、「5～9回（19.2%）」、「1～4回（17.4%）」となっている。

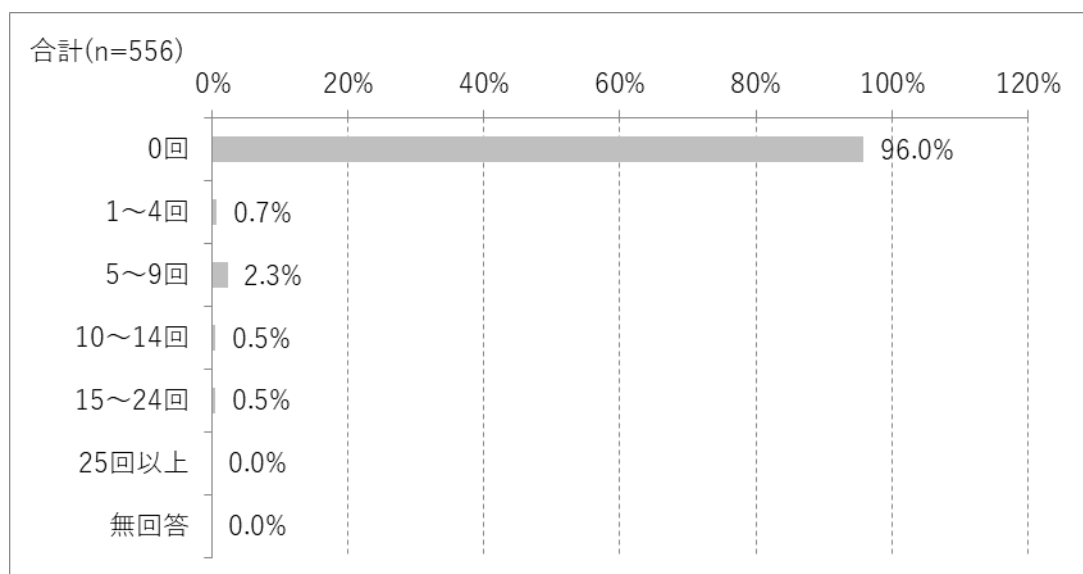
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く96.0%となっている。次いで、「5～9回（2.3%）」、「1～4回（0.7%）」となっている。

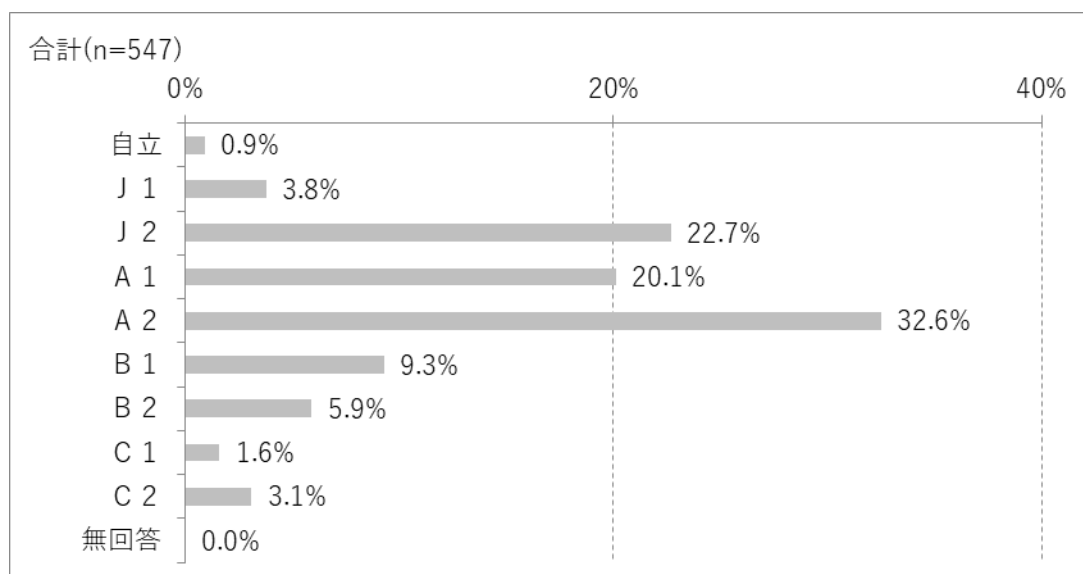
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A 2」の割合が最も高く 32.6%となっている。次いで、「J 2（22.7%）」、「A 1（20.1%）」となっている。

図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度

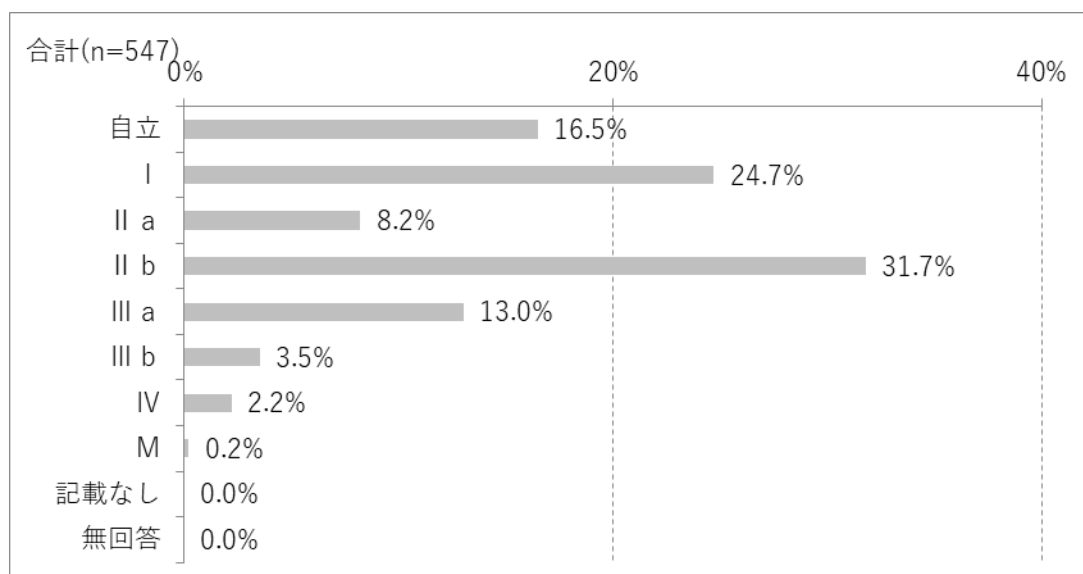


生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所へなら外出する。
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2. 介助により車いすに移乗する。
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りもうてない。

(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱ b」の割合が最も高く 31.7%となっている。次いで、「Ⅰ（24.7%）」、「自立（16.5%）」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



ランク	判定基準
Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅱ a	家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅱ b	家庭内で上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅲ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
Ⅲ a	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅲ b	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅳ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(参考資料)

基本調査項目のみ

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[]

【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A 票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | | | |
|---------------------------|---|----------------|---------------|
| 1. ない | } | 問5を回答し、調査は終了です | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | | | |
| 3. 週に1～2日ある | | } | 問3～問5を回答し、B票へ |
| 4. 週に3～4日ある | | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | | |

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20 代 | 3. 30 代 |
| 4. 40 代 | 5. 50 代 | 6. 60 代 |
| 7. 70 代 | 8. 80 歳以上 | 9. わからない |

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※自営業や農林水産のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

●問2で「2.」「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 表へのご回答・ご記入をお願いしてください。

●「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない

問2～問4へ

4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〈身体介護〉

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〈生活援助〉

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〈その他〉

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。